

- 1頁 第3回幹事会
今後の高齢協運動
参議院選挙の取組
- 2頁 全国事務局長会議
労金「年金友の会」

ボジターネ

改題 高齢協「会報」

発行

〒950-0965

連合新潟高齢者協議会
新潟市中央区新光町6-2

TEL 025-281-5454

FAX 025-281-5456

高齢協運動の更なる発展に向けてがんばろう

組織・運営の見直しを提起

第3回幹事会

県高齢協は、第3回幹事会を開催し、労働金庫や総合生協の市場競争の激しさ等による経営環境の変化で助成金の減額が余儀なくされる中で今後の組織や運営をどうするか、議論を開始しました。

幹事会での論点は、二つです。第一は財源確保の難しさによる今後の高齢協の組織や運営をどうするか、第二に労金「年金友の会」の活動範囲の拡大と高齢協運動のかかわりでどうすすめるか、という点に集約されます。

組織と運営については、会費の引き上げはできない前提で、高齢協の事務所機能を連合新潟との有機的連携が図れるようにし、会長、事務局長が常駐できる体制にする。定期総会のあり方を検討する。地域組織にあっては地域事情を勘案しつつ連合地協との整合性を意識し再編設置していく。

(詳細は、高齢協HP資料の「今後の高齢協の組織・運営方法等について」を参照してください)

運動のあり方については、労金「年金友の会」が新しいニーズにも対応できる「会」として「退職者」を核とする組織に生まれ変わります。高齢協がこれ

まで進めてきた運動特に健康年齢を引き延ばす運動や親睦交流、あるいは趣味の活動などと一致する部分が多く

あることから、連携していくことで「運動の幅と質」が大きく変化させていく必要性があります。

(今後の労金「年金友の会」のあり方については、高齢協HP資料の「年金友の会が広く開かれた魅力ある会に」を参照してください)

第3回幹事会では、組織の見直しのスケジュールについて、3月14日地域組織代表者会議、5月第4回幹事会の議論を経て、7月定期総会で方針を確認することとし、2017年定期総会で最終方針を確認することとしました。



第3回幹事会

生活者優先の政治を取り戻せ！

参議院選挙等の取り組みを確認

——第3回幹事会

本年7月に予定されている参議院議員選挙について、高齢協は第3回幹事会で、連合新潟及び退職者連合の方針をふまえ、組織総力をあげて取り組むことを確認しました。

2015年の定期総会で確認した活動方針に選挙活動は明記されていませんが、現在の安倍政治の暴走を何としても止めなければならない、労働者国民の立場をふまえた生活者優先の政治を取り戻さなければ

ならないことから、加入組織の事情をお互い理解しあい取り組んでいくこととしました。

新潟選挙区では、連合新潟がすでに「菊田まきこ」さんを推薦していますが、政党間では野党統一候補としての作業も進んでいるようです。高齢協としても、特に地域組織で連合地協との連携による選挙活動が大きく期待されていることから積極的に進めていくこととしました。

社会保障基盤の弱体化に繋がる労働法制改悪反対

退職者連合 2016 春季社会保障・税制への取組を確認し要請行動へ

2月16日、退職者連合は、「全国事務局長会議」を開催し、2016年度春季の社会保障・税制への取り組み課題を確認するとともに、本年7月予定の参議院議員選挙対策を確認しました。



年金・医療・介護等社会保障について、生涯派遣につながる労働者派遣法強行採決手当なし残業を拡大する労働基準法「改正」の継続審議、解雇の金銭解決を可能とする労働契約法の改訂など、このまま労働者の権利破壊、労働条件切り下げが進行すれば、社会保障基盤の弱体化を招き、制度そのものの存在を危うくするもので絶対に許さない視点で課題を整理しました。（詳細は、高齢協HP資料「退職者連合：2016春社会保障・税制への取組」参照）

経済財政諮問会議、財政制度等審議会では、社会保障費の伸びを高齢化による伸びとして5千億円の範囲内で抑制することを決めています。現に平成28

年度予算案では、4126億円増に抑えられています。この方針が貫かれれば社会保障制度の水準低下を招くのは必至で 退職者連合では、すでに昨年からは厚生労働省との関係局の実務者担当者との意見交換に入っています。

新潟県労働金庫

年金友の会から退職の会へ

現在労働金庫の各支店に設置されている「年金友の会」が大きく変わります。2月22日、高齢協第3回幹事会を開催するにあたり、労働金庫の土田専務理事から「今後の年金友の会がどうか変わるのか」講演をしてもらいました。

友の会は、今日まで親睦旅行や新年会などの年金受給者のための行事を行ってきましたが、その参加者が減少傾向にあることなどから魅力のある会としての運営、活動を行っていくこととしました。

新たにできる「退職者の会」（仮称）は、年金受給者にとどまらず、年金受給前であっても55歳以上で会社を退職した人でも加入できるようになります。また同会は、これまでの親睦活動はもとより各労金支店ロビーを活用した展示会やスポーツ囲碁将棋、芸術、工芸などの趣味の会の開催、情報誌の発行、会員の暮らしに役立つ情報の発信、さらには健康や税金相談、振り込め詐欺防止などの啓発など幅広い活動が計画されています。

活動内容は、私たち高齢協が進めている活動と同じくするものばかりです。高齢協としても、こうした「退職者の会」と同リンクしていくか問われます。

今後の日程

◆高齢協地組織代表者会議

期日 3月14日（月）午後1時30分
会場 ガレツソホール
議題 ・今後の高齢協運動の組織運営等
・参議院議員選挙対策

◆第4回高齢協幹事会

期日 5月18日（水）午後1時30分
会場 ガレツソホール
議題 ・第24回定期総会関連議題
・今後の高齢協運動の組織運営等

◆高齢協第24回定期総会

期日 7月22日（金）午後1時30分
会場 ガレツソホール
議題 ・活動、財政報告
・活動、財政方針
・その他

高齢協では、情報の発信として「ホームページ」のアクセスをお願いしています。

「新潟高齢協」と検索してください。もしくは連合新潟のホームページのバナーから入って下さい。